

真宗大谷派戦争犠牲者追悼法要ご協賛のお願い

本年も三十六回目の終戦記念日が近づいてきました。平和であれば助かったかも知れない生命を戦争という状況の下で落された方々に対する哀悼の気持は誰しも感ぜざるを得ません。しかし三十六年の歳月を経た今日、その悲惨な事実も忘れられて平和への祈りが風化されつつあります。一つの思想が権力を背景にした時の危険性を、先の大戦に於て身に滲みているにもかかわらず、今日靖国神社国家護持推進・公式参拝実現等が国会や県議会等で論議・決議されようとしています。私達はこれらの動きに戦争への危惧を感じざるを得ません。私達の宗門が教義を改竄かいざんさせられ、教団を守る為とは言え自ら体制に迎合してきた歴史を振り返る時、二度と同じ轍を踏まない決意を強くするものであります。私達は平和への悲願をこめて戦争犠牲者追悼法要を思い立ちました。

大谷派では今まで戦争犠牲者の追悼法要はあまり行なわれてきておりません。その為、戦歿者慰霊と言えば、靖国神社と決まってしまうました。しかしそれも大谷派が戦争犠牲者の生命を考えていくような追悼法要をやらなかったからにはかなりません。私達は今般遅まきながら、左記の通り追悼法要を企画いたしました。全国でも数教区で八月十五日頃に同じような法要が営まれるようですが、東京ではさし当って私達が発起人となり勤修することになりました。単に法要というに止まらず、真宗の場からさまざまな問題を一緒に考えていきたいと存じますので、何卒趣意をお汲み取り下さいましてご協賛賜りますようお願い申し上げます。

昭和五十六年七月十一日

「真宗大谷派戦争犠牲者追悼法要」発起人

鳴	明	決	坂	東	郷	誠	恒	尾	昭	野
那	須	公	順	碧	海	寿	覚	稻	垣	俊
本	多	賢	純	織	田	一	二	階	堂	行
本	郷	成	光	岩	崎	徹	久	万	寿	俊
柳	林	良	山	上	一	宝	加	藤	一	雄

記

日時	八月十五日(土)午後三時より五時まで
会場	坂東報恩寺(東京都台東区東上野六―十三―十三) 電話八四四―二五三八
法要	正信偈 同朋奉讃式
法話	和田 彌 師 「戦争犠牲者に応える道」
会費	無料

(出仕される方は、黒衣、墨袈裟にてお願いいたします。)

※ 尚、お手数ながらお壇家の戦争犠牲者ご遺族に同封の案内状にて参加をお呼びかけ下さいますようお願い申し上げます。この趣旨に賛同の意味でご芳志を頂ければ幸甚に存じます。